

令和2年6月19日

名古屋教育医療記者会 各位

名古屋市立大学事務局教務企画室長

逸見 和矢 電話：052-872-5801

(名古屋市政記者クラブと同時発表)

## 「名古屋市立大学高大連携授業」 高校生科目等履修生の募集について（ご案内）

本学におきましては、意欲のある高校生に対し、多様な「学び」の機会を提供し、本学の教育・研究に触れ、理解と関心を深めていただくことを目的に、高校生が本学学生と一緒に大学の通常授業を履修できる「高大連携授業」を開講しております。

一昨年度からは、受講生を「高校生科目等履修生」として受け入れ、出席が良好で試験に合格した際には単位認定をしております。

つきましては、広くこの取り組みを知っていただきたくご案内申し上げますとともに、是非、ご取材いただきますようよろしくご願ひいたします。（ご取材いただける場合には、事前にご連絡いただきますよう併せてご願ひいたします。）

### 記

- 1 期 間 令和2年度後期（9月25日～翌年1月29日）  
金曜日5限（16:20～17:50）全15回+試験
- 2 科 目 教養教育科目のうち下記2科目  
①「バイオサイエンス入門」（定員15名）  
総合生命理学部 湯川 泰教授、木村 幸太郎教授、田上 英明准教授  
②「琉球・沖縄の歴史・文化を識る」（定員5名）  
人文社会学部 阪井 芳貴教授
- 3 場 所 名古屋市立大学滝子（山の畑）キャンパス2号館  
（名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1）  
① 2階207教室 ② 2階209教室
- 4 対象者 高校生（在籍する高等学校長からの推薦に基づき、本学が認めた者）
- 5 受講料 1科目3,000円
- 6 手続き ①各高等学校にて受講生の募集を受け付けます。  
②高等学校長の推薦により本学へ申し込んでいただきます。  
（7月31日（金）締め切り）  
③本学の選考により受講者を決定します。

## 【補足】

### 《新型コロナウイルス感染症の対策について》

新型コロナウイルス感染症の影響により、遠隔授業にて講義を実施する場合があります。そのため、受講において情報通信環境が必要となる場合があります。

### 《科目について》

#### 「バイオサイエンス入門」

総合生命理学部 湯川 泰教授、木村 幸太郎教授、田上 英明准教授

生涯にわたって日常生活とバイオサイエンスとの関係に興味を持ち、科学的に正しい判断力を培っていけることを目標とします。社会の様々な場面で、自らの活路を見出す思考基盤として、最新の分子生物学やバイオテクノロジーの基本的な内容と環境に対する生体の応答や、細胞から組織、個体へと高次生命システムを構築する要素などについて身近な例から学びます。

#### 「琉球・沖縄の歴史・文化を識る」

人文社会学部 阪井 芳貴教授

前近代まで 450 年間持続した琉球国ならびに近現代沖縄の歴史と文化に関する知識を深め、その知識を今の沖縄に対する理解を深める基礎とすることを目標とします。琉球・沖縄がどのような歴史をたどってきたのかを把握し、その歴史の中で、どのような文化が形成され位置づけられてきたのかを理解できるようにします。さらに、その知識をもって、日本・アジア・世界との関係を学びます。

各講義のシラバス（授業の目的・目標、計画、概要等）は、「名古屋市立大学シラバス公開システム」でご覧いただけます。

URL: <https://www.nagoya-cu.ac.jp/education/guide/syllabus/index.html>

令和2年度  
後期

## 高校生

# 科目等履修生の募集

### 高校生のみなさん、名古屋市立大学の授業を履修してみませんか？

名古屋市立大学では、高校生が本学学生と一緒に大学の通常の授業を履修できる「高大連携授業」を開講します。

「高大連携授業」は、意欲のある高校生に対し、多様な「学び」の機会を提供し、本学の教育研究に触れ、理解と関心を深めていただくことを目的としています。

今年度は、全学部の大学1年生を対象とした教養教育のうち、2科目を開講します。科目等履修生としてこの科目を受講し、試験に合格した場合、大学の単位を修得することができます。

### バイオサイエンス入門

[総合生命理学部]

湯川泰教授 木村幸太郎教授 田上英明准教授

生涯にわたって日常生活とバイオサイエンスとの関係に興味を持ち、科学的に正しい判断力を培っていただけることを目標とします。

社会の様々な場面で、自らの活路を見出す思考基盤として、最新の分子生物学やバイオテクノロジーの基本的な内容と環境に対する生体の応答や、細胞から組織、個体へと高次生命システムの構築する要素などについて身近な例から学びます。

募集定員：15名

### 琉球・沖縄の歴史・文化を識る

[人文社会学部]

阪井芳貴教授

前近代まで450年間持続した琉球国ならびに近現代沖縄の歴史と文化に関する知識を深め、その知識を今の沖縄に対する理解を深める基礎とすることを目標とします。琉球・沖縄がどのような歴史をたどってきたのかを把握し、その歴史の中で、どのような文化が形成され位置づけられてきたのかを理解できるようにします。さらに、その知識をもって、日本・アジア・世界との関係を学びます。

募集定員：5名

※各講義のシラバス(授業の目的・目標、計画、概要等)は、「名古屋市立大学シラバス公開システム」でご覧いただけます。  
URL: <https://www.nagoya-cu.ac.jp/education/guide/syllabus/index.html>



開講時期 | 9月25日～翌年1月29日 金曜5限 (16:20～17:50) 全15回+試験

※講師の都合や気象・交通状況等により休講となった場合、補講を行うことがあります。

※新型コロナウイルス感染症により通学が不可能となった場合、遠隔授業にて講義を行う可能性があります。休講・補講および授業形式については、各高校を通じて連絡いたします。

場所 | 名古屋市立大学 滝子キャンパス (名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1)

受講料 | 1科目3,000円

応募方法 | 受講生の募集は各高校で行います。(本学への申込:7月31日(金)〆切)

本学の選考により受講者を決定し、受講の可否は高校を通じて連絡します。

お問い合わせは、各高校を経由して下記までご連絡ください。